

# 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会第14回「遊水地保全・再生」及び 「人々の交流・教育・普及啓発」検討合同部会 議事要旨

日時：平成30年11月28日（水） 15時15分～16時45分

場所：栃木市藤岡遊水池会館 2階大会議室

出席者：別紙出席者一覧表（構成員：30団体中18団体（27名）

オブザーバー：4団体中0団体

## <議事要旨>

- ・第13回に続き「遊水地保全・再生検討部会」と「人々の交流・教育・普及啓発検討部会」の合同部会②として進めていく。事務局は小山市が務める。
- ・小山市渡良瀬遊水地ラムサール推進課 武田主事が司会進行。

### 1. 開会

- ・司会より開会の辞

### 2. 挨拶

#### 【議長】

- ・年末の忙しい時期に合同部会②に出席いただき感謝申し上げます。
- ・今年は干し上げの時期よりコウノトリが飛来し、現在も周辺を滞在していることから、渡良瀬遊水地にとって、記念すべき年となったのではないかと。
- ・前回の合同部会では、「野鳥の生息環境の保全」というテーマのもと、コウノトリの見られる場所とその環境についてや観察時の注意点等について、ご意見を出していただき、遊水地へ訪れる方へ周知していければとまとまった。
- ・本日の部会では、今年度並行して協議をしていく「普及啓発のための人材育成」というテーマにも入っていく。
- ・お互いを知り高め合っていくことが普及啓発のための人材育成につながっていくと考え、各団体を一覧にまとめて、それぞれを紹介できるようなものの作成を検討している。
- ・限られた時間ではございますが、専門的なご意見等をいただき、活発な議論をお願いしたい。

### 3. 議題

#### (1) 具体的テーマについて

「野鳥の生息環境の保全」と「普及啓発のための人材育成」の2テーマについて協議を進めていく。

#### ○前回までの流れ

これまで当協議会で作成した「渡良瀬遊水地 自然と人にやさしい10のマナー」や栃木市で作成した「渡良瀬遊水地野鳥観察&撮影のマナー」等で、渡良瀬遊水地で見られる野鳥への配慮についてを謳い、啓発してきたことから、今回のテーマ「野鳥の生息環境の保全」では、非常に貴重なコウノトリについてを協議していくこととなった。前回の合同部会では、「渡良瀬遊水地及びその周辺でコウノトリが見られる場所とその環境」、「コウノトリを観察する際の注意点」、「その他今後もコウノトリが棲み続けるための課題と私たちができること」について意見を出し合い、それらをまとめて、渡良瀬遊水地全体で共通のものを周知していければとまとまった。

#### ○「普及啓発のための人材育成」の進め方について

普及啓発のための人材とは、当協議会の構成団体の皆様のことではないか。それぞれの団体が

お互いを理解し高め合うことが人材育成なのではないか。このような考えから、構成団体を紹介する一覧の作成を検討している。

#### ○これからの進め方

コウノトリに関する情報と構成団体を紹介する一覧をあわせたパンフレットの作成を検討。あわせて、合同部会①でまとめたイベント情報を種類ごとに分けて、地図に落とし込んだものも記載することを検討している。今後の進め方として、このようなパンフレットの作成を考えている。

・渡良瀬遊水地には植物や野鳥等様々な自然が多くある中、なぜコウノトリについての記事を書けるのか改めて教えてほしい。

→渡良瀬遊水地には多くの自然があるのは承知しており、テーマ「野鳥の生息環境の保全」を進める中で、既存のパンフレットで野鳥全体への配慮や観察マナーの啓発はされてきているため、渡良瀬遊水地には多くの自然があることや野鳥への配慮がなされているということを前提として、最新の話題であり、特別天然記念物のコウノトリについてを情報共有し、観察方法等を渡良瀬遊水地全体で共通化し周知していくということで、コウノトリの情報を載せることとなった。

・渡良瀬遊水地＝コウノトリというイメージになってしまうのではないかと懸念。また、飛来しているコウノトリは千葉県野田市で飼育放鳥された個体であり、渡良瀬遊水地やその周辺に飛来しているのに一部のみが盛り上がっているという部分もあるように感じられる。

→コウノトリが飛来するようになり、コウノトリに関する問い合わせが多くなっている。自治体でコウノトリに関する施策が様々なのは理解できる。この協議会で観察マナー等を提示し、共通認識することは大切である。日本にいるコウノトリは、人工的に繁殖・放鳥しているものがほとんどであるが、そのうちの野田市で放鳥された個体が、渡良瀬遊水地に飛来しているというだけのこと。コウノトリについて協議し、記事として掲載していくことにご理解いただきたい。

#### ○今回の部会での協議・検討内容について

パンフレットのデザイン（案）を用いてそれぞれのページの説明。表紙、コウノトリ情報、各団体の紹介、遊水地周辺イベント、コウノトリのビュースポットを記載予定。記載内容について意見を求める。

##### ◇コウノトリ情報について

- ・コウノトリは一度絶滅をし、これまで各地で野生復帰の取り組みをしてきたので、そのようなことを記載することは大切である。
- ・コウノトリから近づいてきた場合は、派手な動きをしないこと、できるだけ自分からの動きを取らないことが良いのではないか。
- ・立ち入り禁止区域とはどのようなところか  
→想定しているものは、閉まっているゲート内に無理やり侵入したりすること。河川管理施設も立ち入り禁止となっている。再度、立ち入り禁止区域があるのか確認をする。
- ・表紙はどのようにするのか。  
→事務局側でもどのようなタイトルにするべきか悩んでいる。皆様からも案があれば出していただきたい。
- ・コウノトリが生きていけるような環境についても記載した方がよいのではないか。
- ・ごみの持ち帰り、写真撮影方法、犬連れのマナーについても記載した方がよいのではないか。
- ・表紙について、内容にあわせて表表紙と裏表紙でタイトルをかえるなど、1つにするのは難

しい。

- ・タイトルの案として「コウノトリ舞う 野鳥豊かな渡良瀬遊水地」

#### ◇各団体の紹介様式

- ・スペースの関係上、一言メッセージは何文字くらいになるのか。小さくなり見にくくなってしまわないか。
- ・会員募集について、詳細を載せると膨大になるため、HP参照などにして、項目からなくしても良いのではないか。
- ・最低限①団体名②主な活動内容を書いていただき、あとは自由記入にして良いのではないか。
- ・みんなで守っていこうということも記載していただきたい。

→①団体名②主な活動内容を必須とし、あとは自由記入欄とする。①②を載せず、名前だけの紹介をすることも可能とし、後日、掲載記事の調査をさせていただく。

#### ◇遊水地周辺イベント、コウノトリのビュースポット

- ・情報は毎年度更新されるのか。開催しなくなったイベント情報の削除等はどのようにするのか。  
→毎年度の更新はやらない予定。少なくとも3年くらいは継続してこのパンフレットを使用したい。実施日については、○月上旬や○月～○月等、おおよその時期が分かるようにする。年によっては実施しないイベントがあると思うので、注意書きで各団体に確認をしていただくよう記載する。
- ・イベントによっては持ち回りで実施しているものがあり、それらはどのように表記するべきか。  
→問合せ・連絡先については、**表-3**の団体一覧につけた番号を記載して、その分内容を多く記載できるようにしたい。問合せ・連絡先に持ち回りで実施している団体の番号（複数）を記載することや、内容のところにその旨を記載するようにする。
- ・注意書きに、アクリメーション振興財団HPにあるイベント情報に、パンフレット記載のイベントやその他のイベントが公開されているので、そちらも見ていただけるよう記載していただきたい。
- ・種類分けをする際に「湿地保全活動」という言葉は一般の方からするとわかりにくいところがある。どのようなものを説明する文章を追記したらどうか。

→団体紹介の掲載記事の調査とあわせて、掲載イベントの調査をさせていただく。

#### 4. 情報交換

- ・コウノトリの羽の取扱について 環境省 関東地方環境事務所 野生生物課より情報提供
- ・ヨシ刈デー2018開催について わたらせ未来基金より情報提供

#### 5. その他

- ・合同部会②の開催時間の変更について
- ・印刷物配布部数について

#### 6. 閉会

- ・司会より閉会の辞